

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

兵庫県丹波篠山市

自治体名： 兵庫県丹波篠山市

担当課名： 丹波篠山市教育委員会学校教育課

電話番号： 079-552-5653

1.自治体の基本情報

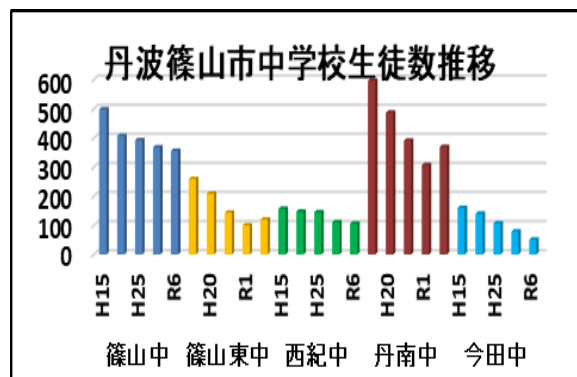
基本情報

面積	377.59km ²
人口	40,000人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	992人
部活動数 (運動部活動のみ)	51部活動
地域クラブ活動数	5クラブ (剣道、ホッケー男女、 サッカー、ソフトボール)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	「丹波篠山市立中学校部活動および地域クラブガイドライン」策定

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

丹波篠山市は、兵庫県中東部に位置し、自然豊かな田園風景に囲まれた人口4万人の都市である。平成11年に4町が合併し、篠山市となり、さらに平成31年より、「丹波篠山市」と市名変更した。中学校は市内に5校あり、うち2校は生徒数300人程度の中規模校であり、その他3校については、1学年1学級の小規模校である。下グラフにあるように、生徒数も非常に減少傾向にある。右下表にあるように各中学校の部活動数についても若干減少している。しかし、生徒数の減少と比較すると部活動数の減少は少なく、各校部活動数に対して、生徒数の減少に伴い、種目によっては試合参加できる人数がそろわず、十分な活動ができない状況が増加した。

そのような状況を踏まえ、令和6年度より剣道、ホッケー、サッカー、ソフトボールで休日地域クラブを立ち上げ、市内全ての生徒が参加可能な活動を開始した。地域の競技団体やクラブチームが受皿となり、そこから地域指導者を派遣し、充実した活動を展開している（ホッケー男子は全中優勝を果たした）。地域と学校の連携が十分に図られ、平日・休日の混乱も少なく活動できている。令和7年度はさらなる種目で地域クラブを公募し、エントリーのあった男子バレーボール、バスケットボール、軟式野球で試行的体験会を実施し、令和8年度実施へ協議を重ねてきた。



出典：学校基本調査

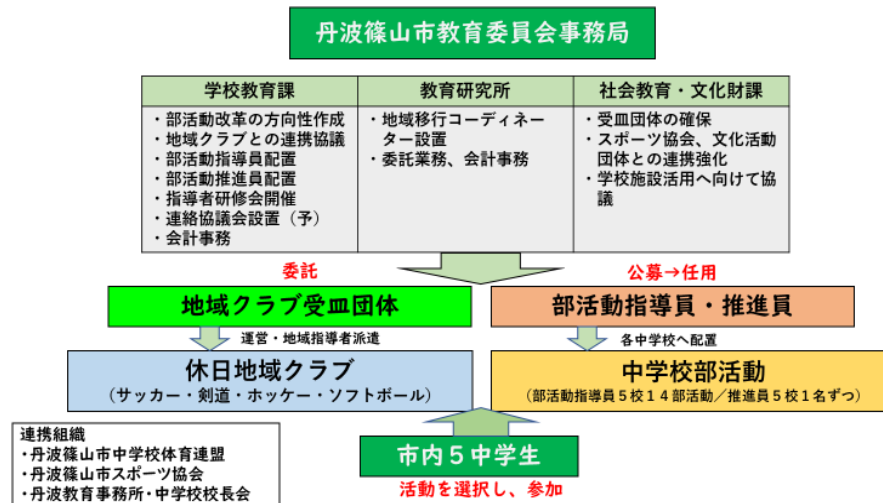
	篠山中	篠山東	西紀中	丹南中	今田中	合同	地域クラブ
H15	17	9	7	16	7	0	0
H20	17	8	7	15	6	0	0
H25	17	8	7	13	6	1	0
R1	17	8	7	13	6	2	0
R6	17	7	6	12	5	3	5

出典：令和7年度市教委調査

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●推進体制図（丹波篠山市における運営体制）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育課・社会教育文化財課）
・「部活動改革方針」の方向性策定、地域クラブ活動への支援

◎首長部局（総務課）
・部活動指導員・推進員の任用

◎コーディネーター（教育研究所）
・学校と地域クラブとの連絡調整 ・地域クラブ指導者謝金会計処理

年間の事業スケジュール

令和7年4月	- 先行実施地域クラブ活動開始 - 地域クラブ公募開始 - 部活動指導員・推進員配置
令和7年5月	部活動指導員研修会
令和7年6月	地域クラブ代表と総括コーディネーターとの連絡協議
令和7年8月	- HC HYOGO HEARTS（ホッケー）全国優勝市長表敬訪問 - 男子バレー部試行的体験会
令和7年10月	丹波篠山市立中学校部活動および地域クラブ活動ガイドライン改訂準備
令和7年11月	- 部活動推進員研修会 - 部活動指導員を配置する部活動顧問へのアンケート調査
令和7年12月	地域クラブ設立への協議（陸上競技、卓球、吹奏楽）
令和8年2月	令和8年度地域展開への協議
令和8年3月	地域クラブ代表と総括コーディネーターとの面談、協議

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		5クラブ（剣道、ホッケー男女、サッカー、ソフトボール）	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	5クラブ（10部活動）	
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数	なし	
全体の指導者数	18人	全体の運営スタッフ数	32人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
丹波篠山市 剣道連盟中 学部（男女）	スポーツ協 会	剣道	・平日 週3回 丹南剣道教室 ・休日 月4回 土曜日	休日9:00～ 16:00の時間 帯	1年 10人 2年 11人 3年 7人	令和7年4月 ～令和8年3 月	4人	4人 （内、兼務1人）	2,000円 /（等）	中体連：地 域クラブ その他：地域 クラブ
HC HYOGO HEARTS （男女）	地域クラブ チーム	ホッケー	・休日 月4回	休日9:00～ 16:00の時間 帯	1年 11人 2年 11人 3年 15人	令和7年4月 ～令和8年3 月	6人	24人 （内、兼務2人）	7,200円 /額（等）	中体連：地 域クラブ その他：地域 クラブ
丹波篠山SC	地域クラブ チーム	サッカー	・平日 週1回 ナイター照明利用 ・休日 月4回	休日9:00～ 16:00の時間 帯	1年 14人 2年 12人 3年 7人	令和7年4月 ～令和8年3 月	5人	5人 （内、兼務2人）	2,000円 /月（等）	中体連：地 域クラブ その他：地域 クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 令和7年度は、地域クラブの公募を行い、エントリーのあった団体が中学校で体験会を実施した。軟式野球の体験会では、小学生の参加もあり、盛況であった。

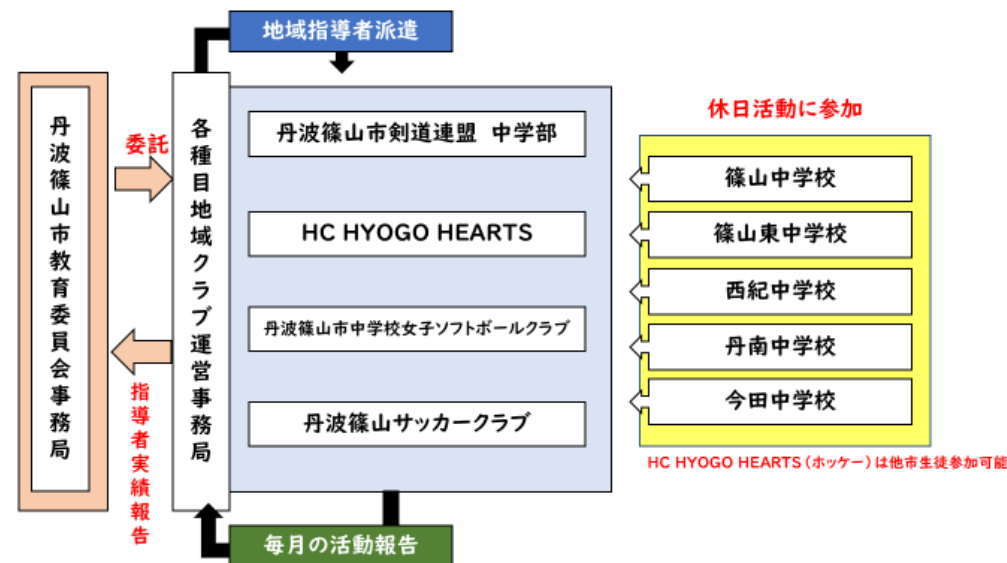
2.実証内容と成果

主な取組例

●丹波篠山市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道、ホッケー男女、サッカー ※ソフトボールは部員不足のため、活動を休止し、限定的な活動となった（4月の新入生勧誘活動と小学生体験会）
運営団体名	丹波篠山市教育委員会事務局
期間と日数	4月1日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	地域指導者（協力者）・教員（兼職兼業）
活動場所	市内中学校施設、市スポーツセンターホッケー専用グラウンド
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎等
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：24,000円 剣道：24,000円 ホッケー：7,200円 ソフトボール：- 円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,350円/年 ※生徒分は受益者負担

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 統括責任者（教育委員会事務局、コーディネーター、教育委員会指導主事）

役割：部活動改革の方向性作成、活動報告調査、地域クラブ連携

- 主任指導者 4名（各地域クラブ団体代表）

役割：地域クラブと教育委員会との連絡調整、地域クラブ活動計画作成

- 運営補助者

役割：地域クラブの指導、大会引率、会計処理等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（地域クラブの公募）

取組事項

令和8年度以降本格的な「地域展開」へ向け、令和7年度は、主に部活動の休日部分を担う「地域クラブ」を公募した。中学生がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を学校から、地域へと広げるために、中学生の活動に携わっていただく指導者や団体を募り、中学校（顧問）と連携し、試行的な体験会や練習会を計画した（エントリー団体と学校との連絡調整は教育委員会が担った）。

取組の成果

令和7年度は、教育委員会HP、公募チラシより公募を行った。本年度中に3団体のエントリーがあった。（バスケットボール・バレーボール・軟式野球）エントリーがあった団体と面談を行ったうえ、それぞれ中学校の休日部活動の時間帯に試行的体験会を実施できた。体験会では、それぞれの中学校の部活動参加者が揃い、合同練習を団体指導者の指導のもと、行った。バレーボールでは、自分の通う学校にバレー部がない中学生も参加できた。また、軟式野球では、現役中学生野球部員だけでなく、少年野球に通う、小学生も参加する等、今後に向けて連携を図ることができた。

今後の取組における課題

まずは、市内中学校にある運動種目、文化活動の受皿となり得る地域団体を公募した。しかし、1年間を通じて3団体の公募のみであった。先行実施種目と、公募のあった種目以外、まだいくつかの運動部、文化部において受皿がまったくない状況にある。公募のアナウンスも含めて、課題があると感じた。

令和7年度の後半は、エントリーまではいかなかったが、いくつかの運動種目で公募に対する問い合わせや質問があり、少しずつ認知もされつつあるが、まだまだ地域の理解が進んでいないのが現状の課題である。

課題への対応方針

まずは、地域に部活動改革の認知を拡げていく。令和8年度も、継続して地域クラブの公募を行う。新たなエントリー団体があれば、令和8年度中にも試行的体験会を実施し、早ければ令和9年度からの地域クラブ設立を目指す。また、市で任用している部活動指導員にも、丁寧に地域クラブについて説明を行い、地域展開への協力をいただけないか協議を進めていく。未エントリーの相談段階の団体に対しても、教育委員会から本事業の説明や取り組み事例の紹介に出向き、周知活動を行い理解を図る。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年度は、地域展開に向けた先行実施として4種目5団体（剣道、ホッケー男女、ソフトボール、サッカー）の実施継続と新たな地域クラブ公募（3団体エントリー）を実施することができた。

それぞれの運営団体へ公的支援を行い、教育委員会が各地域クラブ事務局担当者や指導者とも連携を図り、年間の活動について支援した。剣道、ホッケー、サッカーについては、地域クラブについて啓発を丁寧に行ったことで、新入生の参加も増えた。中体連大会にも地域クラブとして参加できた。ソフトボールは試合可能な人数を揃えることができず、年度途中から活動を休止したが、令和8年度へ向けて小学生向け体験会や他市のソフトボール部との連携を図り、活動を継続する工夫を図った。

受益者負担は各地域クラブで月謝や年会費を設定し、用具購入や保険料支払いに充てている。サッカークラブは応援サポーターを募集したり、剣道クラブはTシャツ販売したりする等、クラブ独自の取組もあった。

令和8年度へ、市として、地域クラブへの指導謝金を支援し、大会参加等についても部活動同程度の支援を行うように、協議を進めている。3月に1年間の総括を行い、次年度への取組につなげる予定である。

●成果の評価

（学校との連携）各地域クラブに、教員も指導に参加している。平日の部活動との連携をスムーズに行うことができ、1年間を通じて大きな問題はなかった。

（休日の活動について）各地域クラブの指導者による熱心な指導により、充実した活動となった。ホッケー男子は全国大会で優勝を収め、剣道も県大会出場を果たしている。しかし、さらなる活動の充実に向けガイドラインに即した活動の徹底等、今後も丁寧に周知を図っていく必要性も感じた。勝つことに終始することなく、地域クラブ活動を楽しむことを念頭に、市独自の地域クラブのあり方を模索していく。

（受益者負担とのバランス）令和7年度の5クラブについては、市から支援のもと充実した活動につなげることができた。令和8年度から、受益者負担とのバランスも考慮しながら、持続可能な活動へ向けた支援を教育委員会として行っていく。

●今後に向けて

令和8年度は、令和7年度公募より、試行的体験会を行った3団体を含めて、8団体で地域クラブを実施する予定である。また、全ての地域クラブを「認定地域クラブ」とし、学校施設の利用や大会出場への支援を行う。

さらなる生徒のニーズに応えられるように、地域クラブの公募を継続し、令和9年度には、現在学校にあるすべての運動種目と吹奏楽において休日地域クラブを開始できるように取組む。

2.実証内容と成果②

参考資料



【HC HYOGO HEARTS（ホッケー）全国優勝】



【篠山バレーボールクラブ試行的体験会】



【軟式野球協会試行的体験会】



【HC HYOGO HEARTS市長表敬訪問】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和7年

・先行実施クラブ
活動継続
・地域クラブ公募→
試行的体験会

○生徒、保護者へ周知
○体験会実施クラブ
との協議
○学校との協議

令和8年

・先行実施・新規クラ
ブの活動
・新たな地域クラブ公募
→試行的体験会

○生徒、保護者調査
○体験会実施クラブ
との協議
○学校との協議

令和9年

・現在市内中学校に
ある運動部・文化部全
てにおいて地域クラブ活
動実施（休日）

令和10年

将来的な地域展
開の効果的な在
り方へ協議

●ステークホルダー

教育委員会（学校教育課、社会教育・文化財課）

地域クラブ受皿団体

部活動指導員・各中学校

●経過

令和6年開始の先行地域クラブ継続的活動。

新規公募の地域クラブは試験的体験会として年間数回（例 休日に月1回、期間限定等）学校と連携して行う。部活動指導員配置部活動は、休日に複数校で合同部活動を試験的に行う。

●実施にあたって想定される課題

・学校との円滑な連携。

・全ての種目、文化活動において受皿団体、部活動指導員等を配置が困難。

●実施内容、工夫する点

地域クラブの試験的実施、休日合同部活動は、学校単位ではなく地域単位を基本として、市内中学生誰でも参加可能とした活動とする。

●ステークホルダー

教育委員会（学校教育課、社会教育・文化財課）

総括コーディネーター

部活動指導員（推進員を指導員に統一）・各中学校

●経過

全ての運動部活動、文化部活動において、休日活動は、地域単位での地域クラブ化か地域部活動（地域連携）を実施する。

●実施にあたって想定される課題

・平日活動との連携。平日移行へ向けたプロセス。

・教員に代わる指導者の確保。兼職兼業制度の課題洗い出し。

・指導者の質向上に向けた取組の充実。

・受益者負担と公的支援のバランス。

●実施内容、工夫する点 等

休日活動のすべてを地域単位で行う。そのために令和7年度より開始した公募を継続して行う。

●ステークホルダー

教育委員会（学校教育課、社会教育・文化財課）

総括コーディネーター

部活動指導員（平日のみ配置）

●経過

全ての運動部活動、文化部活動において、休日活動は、地域単位での地域クラブ化とする。部活動は完全平日のみになる。

●実施にあたって想定される課題

・平日活動との連携。平日移行へ向けたプロセス。

・各地域クラブへの公的支援の在り方について。

・指導者の質向上に向けた取組の充実。研修制度。

・受益者負担と公的支援のバランス。

●実施内容、工夫する点 等

地域クラブ活動が持続可能な活動となるために、ニーズを確認しながら支援を行う。また事務処理負担軽減へ総合的な事務局設立を目指す。

3.今後の方向性

地域連携・地域展開の推進に向けたロードマップ

丹波篠山市総合的地域クラブ活動（仮称）
①地域クラブ活動（地域展開）※地域指導者によるクラブ活動

運営

クラブ事務局（コーディネーター含む）
指導者の勤怠管理、
保護者月謝管理、地域クラブ予算管理

野球②	サッカー ①か②	ソフト①	テニス 男女②ずつ	卓球 男女②ずつ	陸上 ①か②	バレー 男女②ずつ	バスケ 男女②ずつ	剣道①	ホッケー 男女①ずつ	吹奏楽②	（美術 ①）	（家庭 ①）
-----	-------------	------	--------------	-------------	-----------	--------------	--------------	-----	---------------	------	-----------	-----------

○数字・・・想定されるクラブまたは合同部活数

★中学生参加 ※平日の学校部活のみに参加も可
平日・・・学校内部活動か帰宅 休日・・・地域クラブか合同休日部活動に参加（種目による）

令和6年

令和7年

令和8年

令和9年以降

地域展開

- ・ 先行実施開始（4種目）
- ・ コーディネーター配置
- ・ 新規受皿公募開始

- ・ 先行実施活動継続
- ・ コーディネーター配置
- ・ 新規受皿団体による試験的短期間実施

- ・ 休日地域クラブ活動本格実施

- ・ 事務局運営設立準備

- ・ 地域クラブ公募の継続

地域連携

- ・ 部活動指導員配置
- ・ 部活動推進員配置

- ・ 部活動指導員配置
- ・ 部活動指導員による休日合同部活動実施

平日移行に向けても協議開始